

地域資源を活用した地域戦略  
～「バイオマス」を中心にして～



国の重要文化財 旧蓮喬尋常小学校校舎 1907年建築

## 真庭市

### 目次

- 真庭市の姿 ..... P3～5
- 真庭市の地域戦略 ..... P6～7
- バイオマス利活用について ... P8～15
- CLTの活用(木材と技術力) ... P16～17
- まちづくりへの取り組み事例 ... P18～21
- 中山間地域振興の意義 ..... P22～24

## 真庭市の姿

### 【概要】

- 2005年(平成17年)3月31日、「真庭郡勝山町、落合町、湯原町、久世町、美甘村、川上村、八束村、中和村及び上房郡北房町」の9町村が合併し、「真庭市」として誕生
- 古くから旭川流域で繋がる真庭地域は、多彩な自然や地域資源があり、広域合併の効果が生まれれば、大きな発展が可能となる
- 現在、合併後10年目になり、市としての骨格がおおよそ整うとともに、市民の一体感醸成も進みつつある。一方、合併に伴う交付税特例措置の廃止対応や公共施設の統廃合等課題が山積している

### 【地勢的概況】

- 面積 約828km<sup>2</sup> (香川県の約半分)  
(県下1位、県土の約11.6%)
- 気候 北部:豪雪  
南部:温暖少雨
- 標高 最低 110m(旦土)  
最高 1218m(毛無山)  
(人家では553m 蒜山)



### 【自然的条件】

多彩な個性ある自然環境に恵まれている

#### ■ 北部

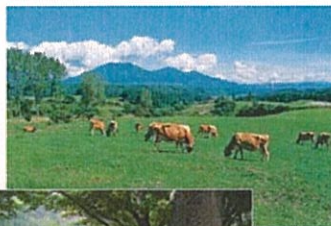
蒜山三座(ひるぜんさんざ)、黒土蒜山高原など牧歌的な高原風景

#### ■ 中部

森林資源、小規模盆地  
湯原温泉郷・勝山神庭の滝

#### ■ 南部

平坦地、吉備高原  
農用地及び商業地・工業地が形成



真庭市 月別の平均気温、平均降水量、雨温図(統計期間:1981~2010) 上段:南部 下段:北部

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
最高気温 (°C)	7.2	8.3	12.5	19.5	24.3	27.5	30.9	32.4	27.7	21.8	15.5	9.8	19.8
	4.1	4.8	9.1	16.4	21.1	24.1	27.6	28.9	24.3	18.9	13.3	7.5	16.7
平均気温 (°C)	2.0	2.7	6.1	12.0	17.1	21.3	25.1	26.0	21.7	15.1	9.1	4.1	13.5
	0.1	0.4	3.7	9.6	14.5	18.6	22.6	23.4	19.1	12.8	7.4	2.6	11.2
最低気温 (°C)	-1.8	-1.6	0.8	5.5	10.7	16.2	20.9	21.6	17.3	10.3	4.6	0.2	8.7
	-3.9	-4.1	-1.5	2.8	8.2	13.8	18.8	19.4	14.9	7.6	2.3	-1.7	6.4
降水量 (mm)	52.8	67.5	109.0	116.0	151.6	193.6	248.2	114.8	168.6	91.0	65.6	53.4	1432.0
	162.3	156.9	156.6	119.5	143.5	191.1	270.1	144.4	245.4	159.8	142.5	140.9	2010.9



【人口・世帯(住民基本台帳 基準日 3月31日)】

	11年度末	16年度末	21年度末	25年度末
人口(人)	56,386	54,140	51,164	48,895
世帯数	17,173	17,344	17,656	17,825
	12年3月31日	17年3月31日 (合併時)	22年3月31日	26年3月31日

- ◆ 昭和50年をピークに減少の一途 (16年度末～25年度末▲5,245人)
- ◆ 平成26年4月1日高齢化率は34.2%と、3人に1人が高齢者
- ◆ 人口密度 59.1人/Km<sup>2</sup>
- ◆ 同規模の中山間地域と同様に少子高齢化と過疎化が進んでいる状況

【各種財政指数(平成25年度)】

◆ <b>財政力指数 0.309</b> 地方交付税への依存が高い (税込比率 15.8%)	◆ <b>経常収支比率 82.3%</b> 地方交付税の段階的縮小により悪化 が予測される
◆ <b>実質公債費比率 11.9%</b> 地方債の抑制と計画的繰り上げ償還 を実施	◆ <b>起債残高 611億円</b>

真庭市の地域戦略～中山間の「地域資源」を活かす

<文化>

真庭地域(かつて木材で栄えたことなど、文化教養の素養が根付いていた)の歴史的背景が土壌にある。

- 9つの個性のある地域性
- 人のつながり(「結」)…消防団、氏子、祭り(だんじり等)、祭礼、自治会
- 地域行事の存続…なおり、綱渡し等民俗的風習の存続
- 自立性…「祭り」の自主企画運営、月田の集落活動、勝山のまちづくり
- 小規模基礎自治体(住民と行政の距離感)

<交通>

- 高速道路の十字路(5つのインターチェンジ)

<自然・環境>

- 旭川流域 ○ 比較的災害が少ない
- 蒜山から北房までの多様な気候風土
- 豊かな山林資源  
「美作桧」人工林約57%

1 地域資源の価値の再発見と活用

- 外からの視点で見直す
- 資源を育てる・磨く
- 資源を組み合わせる

2 地域共同体の力(地域力)

- 住民や企業の自発的な活動
- 再生エネルギーの自立
- 経済や資源の市内循環

3 他地域(都市部)との交流

- 真庭市場から始まる高槻市との連携
- トンボの森や旭川を通じた岡山市民との交流



市民・地域が連携した地域経営

都市とは違う魅力がある「真庭ライフスタイル」の確立へ

- ① **企業等の取り組み(経済活動として「里山資本主義」へ結実)**  
21世紀の真庭塾(若手企業経営者の地域づくりへの取り組み)から発展  
身近な資源の産業化⇒ **バイオマス発電所とCLTの活用**(経済循環、資源循環)  
資源循環型地域づくり
- ② **あぐりネットワーク(「真庭市場」高槻市)、トンボの里プロジェクトなどの試み**  
⇒産業化、地域間交流、市のPR・情報発信拠点への発展  
⇒農業者、高齢者、市内企業、行政、他自治体との連携
- ③ **住民主体の「まちづくり」と域内連携**  
勝山の町並み保存事業(NPO勝山町並み委員会)  
旧遷喬尋常小学校校舎の利活用(まにワッショイ、ロマネスク遷喬の会等)  
湯原温泉地域の活性化(湯原っしい)、ひなまつりなどの地域文化の展開
- ④ **真庭で育っている新しい芽と地域の魅力づくり**  
ヤギの乳のチーズ農家カフェ  
天然酵母と有機食材を使ったパン屋  
地域で続いてきた発酵文化を生かした取り組み、まにわ発酵's(はっこーず)

バイオマスの利活用について

【バイオマス産業杜市を目指して】

●目指すべき将来像

「自然」、「連携」、「交流」、「循環」、「協働」の5つのキーワードを踏まえ、以下の4つのプロジェクトを重点的に展開し、多様な事業の連携・推進により「真庭バイオマス産業杜市」を目指す。

- ①真庭バイオマス発電事業
- ②木質バイオマスリファイナリー事業
- ③有機廃棄物資源化事業
- ④産業教育・観光拡大事業

●目標

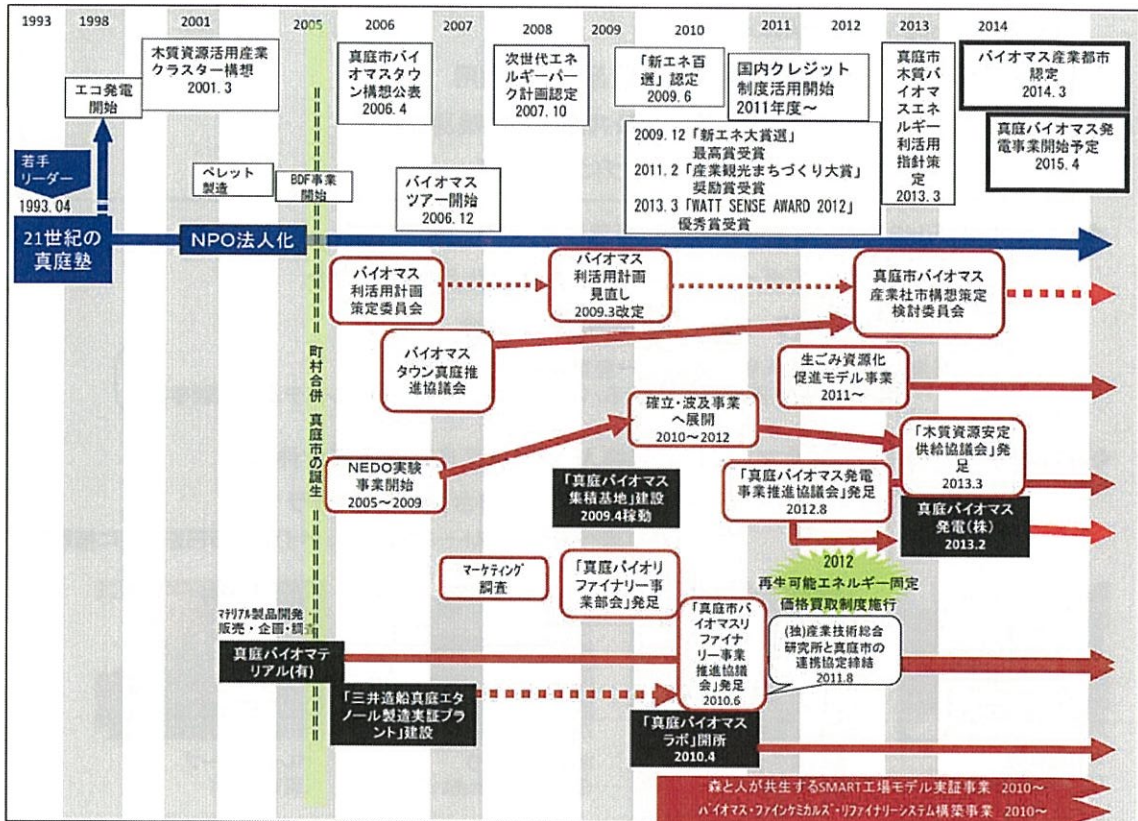


◆目標バイオマス利用量	約349,000t/年 (換算エネルギー量約4,316,000GJ/年)
◆原油代替量	約113,000kL/年 (灯油代を97円/Lと想定すると約114億円に相当)
◆CO <sub>2</sub> 削減効果	約299,000t-CO <sub>2</sub> /年
◆雇用効果	約250人/年を達成

注)原油代替量(38.2MJ/L)を灯油(36.7MJ/L)に熱量換算すると約117,600kL/年

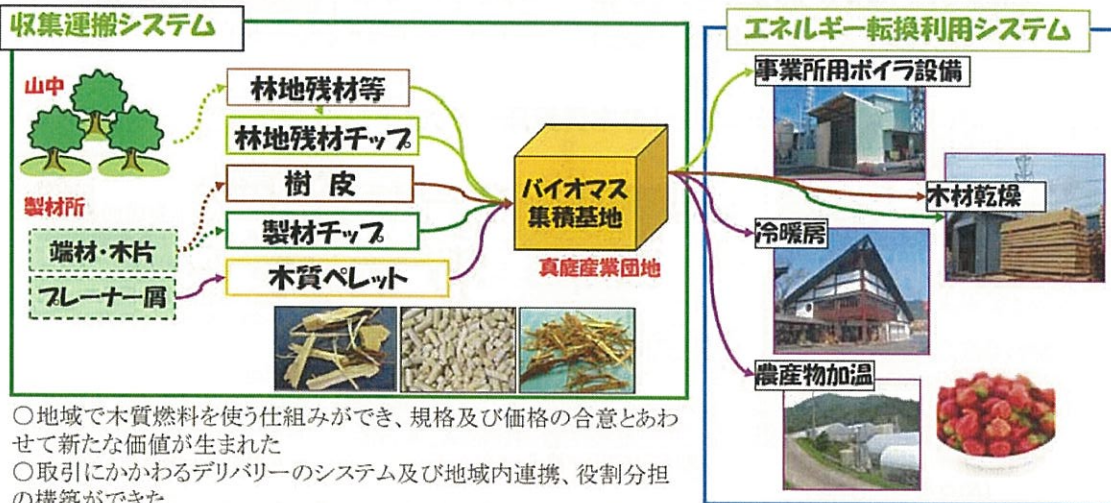


## 【これまでの経緯】



## 【木質バイオマスエネルギー活用の仕組み構築】

- ◆NEDOの公募事業「バイオマスエネルギー地域システム化実験事業」採択(全国で7件)
  - ・事業期間 平成17年度～平成21年度の5ヵ年事業(事業費:5億3千万円)
  - ・事業内容 未利用資源(林地残材、樹皮等)を燃料化する実証実験
- ◆地域関係者連携による共同事業「木質バイオマス活用地域エネルギー循環システム確立事業」
  - ・事業期間 平成22年度～平成24年度の3ヵ年
  - ・事業内容 木質バイオマスエネルギー利用の確立・評価・波及を図る



- ◆約15,600KL/年の原油代替(灯油を97円/Lと想定すると約14億円に相当)
- ◆エネルギー自給率11.6%



## 【バイオマス熱利用の推進】

### 【多様なバイオマス熱利用の方法】

- ・蒸気ボイラ・・・企業等が木材乾燥や製品養生に利用
- ・温水ボイラ・・・農家のハウス栽培や公共施設の冷暖房に利用
- ・ストーブ・・・ペレットストーブ・薪ストーブによる暖房

### ◆H17年度からH21年度におけるNEDO事業によるボイラ導入実績

- ➡ 木材乾燥用ボイラ 2台、コンクリート養生用ボイラ 1台  
 農業用ボイラ 2台、冷暖房用ボイラ 1台

（※NEDO事業：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
 （NEDO技術開発機構）によるバイオマスエネルギー地域システム化実験事業）

### ◆H18年度からの木質バイオマス燃焼機器導入実績（真庭市補助金交付件数）

- ➡ ペレットストーブ 49台、薪ストーブ 53台、農業用ボイラ 5台

（※ペレット・薪ストーブ13万円、ボイラ70万円を上限に補助）



木材乾燥機  
（山下木材株式会社）



農業用ボイラ  
（清友園芸）



冷暖房用ボイラ  
（勝山木材ふれあい会館）



ペレットストーブ  
（美甘支局）

## 【バイオマス発電のながれ】



未利用木材（間伐材・林地残材など）

一般木材（製材端材など）

### 地域内外の木質資源をチップ化

■バイオマス発電所の概要

発電能力：10,000kw

必要燃料：148,000トン/年  
 内間伐材：90,000トン  
 端材等：58,000トン

設置場所：真庭産葉田地  
 北1号地

運転日数：330日/年  
 24時間稼働

雇用：15名  
 （間接雇用 180%）

運転開始：平成27年4月



真庭バイオマス発電株式会社  
 〈地域関係団体で構成する新会社〉

10,000kwのバイオマス発電利用  
 22,000世帯分の需要に対応

### ■運営スキーム

事業費：41億円  
 ・14億円は「森林整備加速化・  
 林業再生基金」を予定  
 ・売電価格（期間20年）  
 間伐材：33.6円/kwh  
 一般木材：25.2円/kwh

事業主体：  
 真庭森林組合、真庭木材事業  
 協同組合、銘建工業、真庭市  
 など9団体で構成する新会社

資本金：2億5千万円



【バイオマス事業と地域活性化】

中山間地域の活性化

直接効果

林業・木材産業の振興

- ・発電事業による13.7億円の燃料購入  
→各業界へ利益分配及び山元還元を可能に!
- ・用材搬出量増加(12.4万m<sup>3</sup>⇒16万m<sup>3</sup>)
- ・製材品出荷量増加(11万m<sup>3</sup>⇒11.8万m<sup>3</sup>)
- ・間伐及び育林促進、本流価値の向上

エネルギー自給率の向上

- ・エネルギー自給率11.6%⇒約40%へ
- ・エネルギー自給に伴う化石燃料代替量  
⇒約3万KL/年
- ・地域経済循環額  
⇒約24億円/年(重油80円/L換算)

雇用の拡大

- ・発電プラント稼働により15人雇用
- ・燃料供給協議会の運営にともなう新規雇用
- ・燃料供給に伴う林業従事者及び加工業者、  
運送業者など雇用拡大

二酸化炭素排出の抑制

- ・バイオマスエネルギー利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量  
⇒約15万t-CO<sub>2</sub>/年
- ・森林整備によるCO<sub>2</sub>吸収量の増加

新たなバイオマス産業の創出

- ・バイオマス発電所設立
- ・資源安定供給協議会設立

森林機能の回復

- ・土砂災害抑制
- ・水源かん養の促進
- ・生物多様性保全 ほか

間接効果

地域観光振興

- ・バイオマスツアー等による集客増加  
⇒2,000人が2,500人へ
- ・関連産業(宿泊、お土産、昼食等)への波及  
⇒約6百万円/年の増加

地域力の向上

- ・関係者連携、地域の仕組み構築
- ・エネルギー関連等の技術や各種情報の蓄積
- ・環境性による地域ブランドの形成
- ・価値観の共有・共感の形成、協働・連携強化
- ・地域の豊かさ(誇り、つながり、満足度など)
- ・定住促進効果
- ・地域内外の様々な交流促進
- ・循環型社会の形成

環境教育

- ・現場を活かした、専門技術やノウハウを、教育  
資源として活用
- ・教育現場でバイオマス産業の効果を普及啓発

地域人材育成

- ・専門技術の蓄積・活用・継承

地域の普及啓発

- ・バイオマス利活用の発信による地域PR
- ・バイオマスツアー等による地域外への普及啓発

CLTの活用と展望



CLT (Cross Laminated Timber) 「直交集積板」とは

CLTは板の繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着して出来る合板積層板で、強度・断熱・耐火・遮音性に優れ、施工が速く、軽いことが特徴。ヨーロッパではその優れた製品性能が評価され需要は飛躍的に拡大している。



＜真庭市での活用＞

- 平成26年2月、市役所庁舎前にCLTを使ったバス待合所を設置
- 26年度中に、CLTによる市営住宅や民間住宅の建設(3棟)

＜森林(木材)資源の再評価＞

森と山林の豊かさを回復させ、森林を資源としての価値を再評価する。



## 【CLT活用の課題と取り組み】

### ●活用方策の検討

CLTを多様な用途に活用し、裾野産業を広げることが今後の課題

- ・建築基準の早期策定に伴う中高層建築物および家具、木塀、木工製品などの新製品の開発によりCLTを多用途に利用
- ・CLTと地域資源(技術・資源・デザイン等)を組み合わせることで新たな製品、新たな産業を開発

### ●輸出(日本の製材技術の応用)

CLTの輸出は今後の木材需要の拡大に関しても重要な施策

- ・日本の高い製材技術を生かし、CLTの世界市場でも優位性を確保できる可能性がある
- ・水島港を利用したCLT製品の輸出により外貨の獲得、木材需要の拡大を目指す

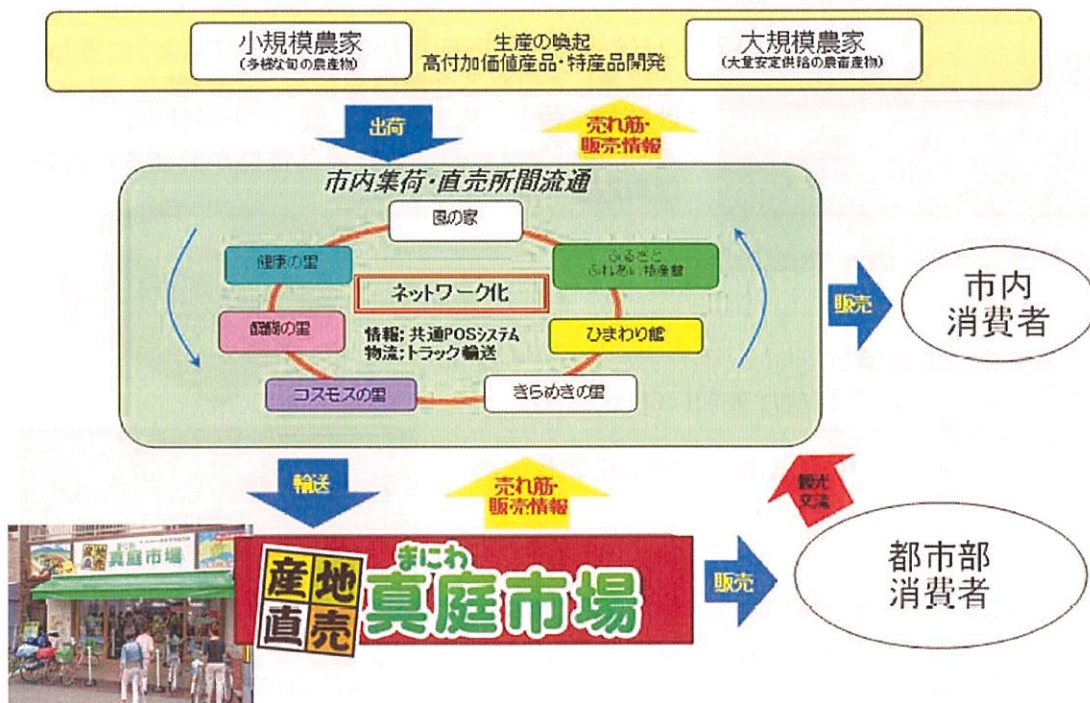
### ●オリンピック関連建築物

東京オリンピック(2020年)におけるCLT活用促進

- ・東京オリンピックのプレスセンター等にCLTを使用

## まちづくりの取り組み事例

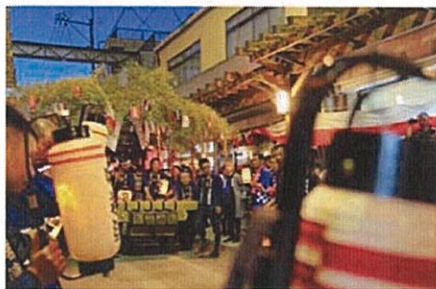
### 真庭あぐりネットワーク全体構想図







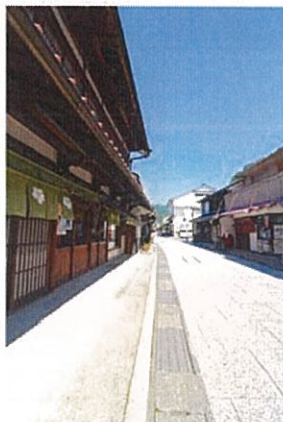
### 勝山まちづくり事業



↑ 勝山喧嘩だんじり



のれんの町並み →



#### <行政>

昭和60年  
「町並み保存地区」の指定を受け、江戸時代の建築様式を伝える武家屋敷館等を修復。

#### <地域住民>

平成8年  
「町並み保存事業を応援する会」発足

#### <住民が中心となった協働のまちづくり>

行政がハード面整備を、住民がその舞台を利用して、地域の魅力を高める様々な活動を企画・実施する、「バランスの良い協働関係」。

- 「のれんのまち」  
地元染織作家の手による約100枚の「のれん」が、軒先にそよぎ、「まちの顔」となっている。
- 「勝山のお雛まつり」  
地域住民の実行委員会より企画・実施。まちなみの各家庭に雛飾りがされる。





# 旧遷喬尋常小学校校舎の活用



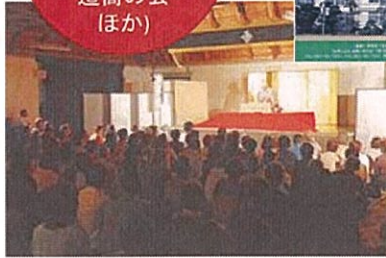
なつかしの  
学校給食・  
挙式披露宴  
(まにワッ  
ショイ)



大掃除の  
時間  
(市民ボラ)



落語会  
「久世  
南光亭」  
(ロマネスク  
遷喬の会  
ほか)



久世  
だんじり喧嘩



# 湯原っしい



旅館おかみ、家  
具職人、農家、  
新聞屋など多  
彩な住民が  
企画



観光協会・  
旅館組合・  
行政による  
取り組み



地元の達人  
「湯原人」を  
先生とした  
体験プログ  
ラム



6月26日  
「露天風呂の日」  
温泉サミット開催  
「湯あみ着」を  
ワコールと共同開発





## 【真庭で育っている芽と地域の魅力づくり】

30代・40代の人が、真庭の風土・歴史・文化・環境に魅力を感じて、独自のライフスタイルを実践している。

そのライフスタイルが多くの人の共感を呼び、全国的にも注目を集め、話題になっており、交流や新たな移住につながっている。

### タルマーリー(パン屋)

勝山に根付いている発酵文化と職人を大切にする空気、真庭の水の質にひかれて、震災後に千葉県から移住。天然酵母パンを作り、販売とカフェを勝山で経営中。

### イル・リコッターロ(チーズ)

蒜山の自然環境にひかれて、アグリツーリズムを目指して移住。ヤギを飼い、乳でチーズを作り、カフェを経営。土日は行列もできる人気。

### まにわ発酵's

真庭地域の若手経営者や作り手7社により結成。  
真庭地域の自然風土を生かした、昔からある発酵文化を発信している。みそ、しょうゆ、ワイン、酒、チーズ、パンなど。

## 中山間地域振興の意義と方向

### 人口と産業の偏在を是正する

- ① **社会の多様性を確保する**  
社会の「豊かさ」「魅力」になる  
→ 生活しやすく、生きがいを  
実感できる社会へ
- ② **さまざまなリスクを分散できる**  
災害や気象変動、経済変動などに強い  
→ 安心安全な社会へ
- ③ **少子高齢化対策**  
子育てしやすく、高齢者が活躍できる  
特に、都市部の高齢者貧困に対応  
→ 人と自然の資源を生かした  
持続可能な社会へ

### 基本方向

- ① **価値観・考え方の転換**  
人間らしい生活・人生とは  
自分にあった生活はどんなものか  
→ 「人生を考える」力をつける教育
- ② **中山間地域の魅力づくり**  
「ひと」「もの」「しごと」の中に  
地域ごとの価値を見つけ育てる
- ③ **中山間地域の魅力の提案**  
大学セミナーハウス  
山村留学、地域おこし協力隊  
山村体験教室、林間学校  
都市住民との交流(災害避難制度)

### 課題

● 医療  
医師・看護師不足。  
産科医・小児科医が特に不足している。

● 教育・文化  
教育・文化の機会が少ない。図書館の蔵書も  
質量ともに不十分。

● 雇用  
若年層と仕事のアン  
マッチ。起業支援の充  
実が求められる。

## 【真庭市の課題と挑戦】

### 課題

- 1 高齢化への積極的対策～先進的な高齢者地域へ
  - 現在でも30%を超える高齢化地域であるが、今後さらに進む
  - 「高齢者(熟年者)は、経験と知識と技術をもった地域の財産」として、積極的に地域で活躍できる仕組みづくり
- 2 人口減少への対策
  - 若者の流出(社会減)や自然減などで、年間約500人の人口減少
  - 世代別対策と、「多彩(たくさんの個性のある地域)性」を活かした魅力ある地域づくりをすることで、社会増を目指す

### 挑戦

真庭ライフスタイル ⇒ 真庭での「質の高い」「豊かな」「安定した」生活の提案  
シティ・プロモーション ⇒ ライフスタイル・真庭の魅力を外へ発信  
情報戦略と誘引する仕掛けづくり

## 【中山間の地域資源の有効活用～「強み」を生かす】

「ひと」「地域」  
の結びつき

農業法人の育成

地域企業との連携

農業法人と地域企業が連携した取り組み

多彩な気候  
安全な水と  
土壌

付加価値が高く、豊富な種類の農作物の生産

有機農法や多品種小生産の商品作物のネット販売や直販、大手漢方薬メーカーによる漢方薬草の栽培実験や採取など、気候と自然環境を生かした農業経営

ふんだんな  
温泉資源

湯原の温泉水を活用した海魚の養殖計画

大学の養殖技術と企業・行政が連携した展開



# 真庭の地酒が味わえる

## お土産セット

オリジナル  
乾杯コップ付き  
(真庭産杉)



限定  
200セット!!!



真庭市の地酒で乾杯を推進する条例制定一周年

『真庭の地酒で乾杯セット』モニター特別価格  
3,980円(税込) 平成27年1月までの限定販売

お問い合わせ先  
真庭市地域雇用創造協議会  
〒719-3292  
岡山県真庭市久世2927-2  
真庭市産業観光部商工観光課内  
TEL 0867-42-1033  
Mail info@maniwakoyou.com

【真庭の地酒で乾杯セット】お取扱販売店

本セットは、「大美酒造 有限会社」「株式会社 辻本店」「株式会社 落酒造場」でも  
お問い合わせいただけます。



実践型地域雇用創造事業日帰りモニターツアー(特別価格)

JR津山駅発着 姫新線 日帰り列車の旅

※ご参加の皆様には、真庭市の観光振興を目的とし各種アンケートにお答えいただきます。

# まにわ 真庭の地酒で 乾杯!列車

2014.  
2/15(土)

募集定員  
70名

真庭市は地酒の宝庫!  
日本酒・ワインなど、  
「真庭の地酒」を楽しむ特別列車!  
「蔵元探訪」国の有形登録文化財見学付!

列車内  
(往復)  
飲み  
放題



お一人様

5,000円

※貸切列車乗車料金、昼食代、列車内の飲食代が含まれております。

お申し込み  
お問い合せ先

(一社)真庭観光連盟

TEL.0867-45-7111

FAX.0867-45-7112

※お申し込みはFAXでの受付となります。  
お問い合せはお気軽にお電話ください。

オリジナル  
ひのき  
乾杯コップなど  
お土産  
付

車両  
まるごと  
貸切!



中国勝山駅内に  
真庭各地の  
お土産販売  
コーナー設置!  
(10:00~17:00)

キャンドルファンタジー  
in 湯原温泉郷 開催中

湯原温泉  
宿泊パックも  
あります!

詳しくは裏面を  
ご覧ください

真庭市

岡山県  
OKAYAMA

旅行企画実施●(一社)真庭観光連盟 企画協力●真庭市地域雇用創造協議会、JR西日本岡山支社、湯原町旅館協同組合、観光回廊真庭誘客協議会  
岡山県知事登録旅行業地先-367号(一社)岡山県人全国旅行業協会正会員



JR津山駅発着  
姫新線  
日帰り列車の旅

# 真庭の地酒で乾杯!列車



「真庭市の地酒で乾杯を推進する条例」制定記念。  
市内3つの酒蔵とワイナリーのお酒と  
のれんの町「勝山町並み保存地区」や真庭の特産品など  
真庭の魅力に酔いしれる一日をお過ごしください。

- 出発日 / 2月15日(土)
- 募集人数 / 70名様(2両編成) ※定員になり次第締切させていただきますのであらかじめご了承ください。
- 最小催行人数 / 20名 ※満員の場合は運行を中止する場合があります。
- 旅行代金 / お一人様5,000円
- 集合場所 / JR津山駅
- 申込方法 / FAX受付となります。

代表者の氏名、年齢、住所、電話番号と、ご乗車される全員の  
氏名をご記入の上、FAXにてお申込みください。

※未成年者の飲酒は法律で禁止されており、未成年の方のご参加希望はお問い合わせください。

## 集合場所(JR津山駅)までのアクセス

● JR岡山駅～JR津山駅・時刻表 ※行き帰りに該当の時刻のみ

往 路	岡山発	金川発	津山着	復 路	津山発	金川着	岡山着
普通	08:07	08:44	09:37	快速ことき	18:02	18:46	19:14
普通	08:43	09:16	10:11	普通	18:42	19:40	20:10

● 大阪～津山【高速バスのご案内】 ※行き帰りに該当の時刻のみ

往 路	大阪駅発	新大阪駅発	津山到着	復 路	津山駅発	新大阪駅着	大阪駅着
JRバス特急	07:00	07:14	09:54	JRバス特急	18:00	20:40	20:57
JRバス特急	07:30	07:44	10:08	JRバス特急	18:30	21:26	21:43

## 当日のスケジュール

10:29発 津山駅発 姫新線特別列車「真庭の地酒で乾杯!列車」  
列車の発車に合わせて、真庭の地酒で乾杯!  
蔵元やワインソムリエ、真庭案内人も乗車し、様々な  
おもてなしを予定しています。  
列車内は真庭の地酒飲み放題!

11:15着 中国勝山駅着  
11:20～12:10 勝山町並み保存地区(のれんの町)ガイドと散策

12:10～13:10 レストラン「西蔵」にて昼食  
各酒蔵・ワイナリーのお蔵め銘柄などを  
バーカウンターで提供(有料)  
※昼食と見学は2グループで入れ替え制となります。

13:10～14:10 辻本店「蔵元探訪」  
※蔵元お屋敷・庭園鑑賞、奥座敷にておひな飾り先行特別鑑賞

14:10～ 辻本店で買い物など自由行動

中国勝山駅で真庭物産展開催(10:00～17:00)

ハンカチのベンガラ染め体験  
(講師:のれん作家 加納容子さん)  
● 料金/お一人様2,000円 ● 体験時間/約60分  
● 定員/14:30～20名 先着順

16:46発 中国勝山駅発 ※酒蔵見学や泊パックをご利用の方は、宿泊施設指定の送迎車にご乗車ください。

17:32着 津山駅着

※交通事情や天候などにより当日の日程、時間の変更が出る場合はご了承ください。



宿泊  
オプション  
プラン

## 湯原温泉宿泊パック

真庭の地酒で乾杯!夕食メニューと  
「バレンタインキャンドルファンタジー  
in 湯原温泉郷」をお楽しみください!

**Aプラン** 1泊2食付  
1室2名様～  
1名様 **19,050円**  
(サービス料・消費税・入浴税別)

**八景**  
夕・朝食で50種類の野菜を  
召し上がっていただけます  
湯のくわりの宿 松の家 花泉  
旅を彩る  
風呂自慢のお宿です

**Bプラン** 1泊2食付  
1室2名様～  
1名様 **15,900円**  
(サービス料・消費税・入浴税別)

**フチホテル ゆばらリゾート**  
食と温泉に拘る  
お洒落な洋館の湯宿  
元禄舞臺 油屋 夢酔庵  
川沿いの客室と  
レトロな食事処  
ゆばらの宿 米 屋  
白壁と格子窓の  
温泉宿場町へ

**Cプラン** 1泊2食付  
1室2名様～  
1名様 **13,800円**  
(サービス料・消費税・入浴税別)

**湯快感 花やしき**  
アットホームで  
きどらめおもてなし  
**湯の蔵 つるや**  
元酒蔵の趣ある  
あたたかい宿  
**湯原国際観光ホテル 菊之湯**  
すべての客室から 1室  
旭川と山の緑を望む 3名様～

乾杯!列車の予約時、下記真庭観光連盟まで。  
※当日お申し込みはできません。事前予約をお願いいたします。  
※翌日の帰路運賃は別途ご負担となります。

JR中国勝山駅  
までの送迎付



## 真庭の酒蔵・ワイナリー

御前酒 辻本店 緑町米

文化元年(1804年)  
創業。  
すっきり辛口のお酒は、  
澤美清や谷崎潤一郎  
など多くの著名人に愛  
されてきました。



大正の鶴 落酒造 朝日米

明治26年創業。  
岡山産朝日米にこだ  
わった純米酒造りを行っ  
ています。  
米の旨味を引き出し、  
熟成に耐えうる酒造り  
に挑戦中です。



美保鶴 大美酒造 あじの米

明治33年創業。  
日本名水百選にも選ば  
れている「環釜の冷泉」  
の伏流水で造るお酒は  
雑味がなく、まろやかな  
出来上がりです。



ひるぜんワイン 山32号

冷涼な気候を生かし、  
稀少な山ぶどうを栽培  
してワインづくりに励ん  
でいます。  
野趣と気品が調和した  
ワインです。



お申し込み・お問い合わせ先

(一社)真庭観光連盟

TEL.0867-45-7111

FAX.0867-45-7112

● 営業時間 / AM8:30～PM5:30  
(12/28～1/5は休み)  
● 旅行条件は弊社旅行業約款によります。

岡山県知事登録旅行業地域-367号 [一般社団法人全国旅行業協会 正会員]  
〒719-3201 岡山県真庭市久世2927-2 真庭市役所第2庁舎2階  
ホームページ <http://www.e-maniwa.net/maniwabito/>

真庭の観光情報は

まにわへいこう 検索





パッケージ  
事業

観光回廊 真庭!観光資源の魅力アップによる雇用機会の増大

実践型事業

「人と人を繋ぐ!まごころネットワーク確立事業」  
～情報発信とおもてなしによる販路拡大と誘客～

1 地域の特徴及び事業の概要

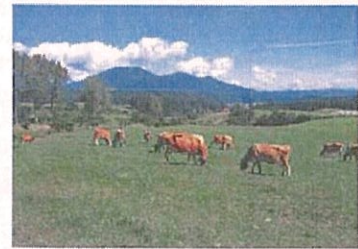


真庭市

真庭市は岡山県の北部に位置し、市面積は828平方km、80%以上が山林の中山間地域である。市の人口は約48,000人、高齢化比率は33.7%と少子高齢化が進んでいる。基幹産業は農林業と観光産業であり、近年は木質系バイオマス利活用先進地として注目を浴びているが、農林業・観光産業の地域資源の有効活用と情報発信が課題となっている。地域の人材育成と魅力向上を図り、全国的知名度を高めて、地場産業による雇用機会拡大を図りたいと考えている。

ポイント

- 農林業と観光産業に携わる人材の技術向上と地域資源の創出と再発見による魅力アップ
- パッケージ事業での事業推進を基に実践型事業で「個の連携」による相乗効果推進



備山高原の牧歌的風景

地域の特徴

人口	H12 54,747人	H17 51,782人	H22 48,964人		
労働力人口	H12 29,173人	H17 27,607人	H22 25,118人		
有効求人倍率 (新規卒業者を除きパートを含む)(倍)	H21	H22	H23	H24	H25
	0.33	0.42	0.54	0.73	0.93
産業構成(就業者数)	第1次産業		第2次産業		第3次産業
	(平成17年度国勢調査)		7,891人		14,139人
	4,541人		6,602人		13,371人
(平成22年度国勢調査)	3,435人		6,602人		13,371人
	産業振興において重点的に取り組んでいる分野				
■新産業創出に向けたバイオマス関連事業の推進 ■誘客500万人に向けた観光産業の振興					

事業の概要

協議会名	真庭市地域雇用創造協議会		
協議会の主な構成団体	真庭市、真庭商工会、真庭農業協同組合富農経済部、真庭観光連盟、湯原町旅館協同組合、真庭市産業サポートセンター、学校法人加計学園 岡山理科大学専門学校		
委託費総額	(パッケージ事業) 57,753 (千円) / (実践型事業) 157,325 (千円)		
事業実施期間	パッケージ事業	実践型事業	
	平成21年度～23年度		平成24年度～26年度
主な事業	■雇用拡大メニュー ①観光資源魅力アップ事業 ②魅力ある特産品開発事業	■人材育成メニュー ①観光産業人材育成事業 ②魅力ある特産品開発人材育成事業	■雇用拡大メニュー ①経営戦略セミナー ②ICT活用セミナー ③地域戦略セミナー
			■人材育成メニュー ①ICT活用人材育成セミナー ②地域プランナー育成セミナー ③接客マナー向上セミナー



## 2 事業開始に至った経緯とねらい

真庭市は9カ町村が広域合併で発足。人口減少や少子高齢化が進行する中山間地域にあり、有効求人倍率が岡山県平均を大きく下回っていた。市では地域資源を有効活用するため「情報基盤整備」、「観光産業振興」、「農林業を核とした新産業創出」といった基盤施策に取り組んできた。多くの観光地を有し、またその観光地が農林業とも密接な関係を持つ本市では、個々の観光地が持つ魅力の再発見や、情報発信力を高めること、人材育成を図ることが、基幹産業に付加価値を付与することになる。これまでの市の施策と本事業とを連携させることで基幹産業の発展による雇用創出を目指している。



バイオマスツアー工場見学

## 3 事業内容の特徴とその効果

### パッケージ事業

#### ■雇用拡大メニュー

(事業者向け) 観光産業や農林業で事業を営む事業者が、地域資源を再認識することの中から新たな視点による事業展開の可能性を見だし、将来的に雇用機会の増大につなぐため専門的なセミナーを実施した。事業者の情報発信力と技術力向上につながっている。経営支援セミナー(営業能力スキルアップ)、魅力あるまちづくりセミナー(景観デザイン形成ほか)、商品開発セミナー(野菜ソムリエ養成講座)、農林農産物生産技術向上セミナー(有機栽培)、特産品販売力向上セミナー(PUPセミナー)、おもてなし人材育成セミナー(接客おもてなしセミナー)ほか多数セミナーを実施。

#### ■人材育成メニュー

(求職者向け) 観光・農業への従事・起業を目指す求職者に向けたスキルアップを図るため専門的なセミナーを実施し、求職者の知識獲得と技術力向上につながった。ITスキルアップセミナー、観光資源開発セミナー(商品写真撮影、先進事例)、商品開発(野菜ソムリエ体験)、農林農産物生産技術向上セミナー(有機栽培技術)、特産品販売力向上セミナー(農林産物直売所経営)、創業支援セミナー

#### ■就職促進メニュー

(就職サポート事業) 都市部から本市内への就業希望者、市内の就業希望者を対象に、出張就職相談会を実施し、市内での就労者が増加した。出張就職相談会は東京都と大阪府で実施。



魅力あるまちづくりセミナー

### 実践型事業

#### ■雇用拡大メニュー

農林業・観光産業に携わる団体等の事業者を対象とした各種セミナーを実施した。経営戦略セミナー(小規模事業者の経営支援)、ICT活用セミナー(情報発信力強化のためのSNS活用研修)、地域戦略セミナー(販売力の強い商品開発戦略研修)

#### ■人材育成メニュー

起業を目指す人材や企業が求めるスキルを持つ人材を育成するため各種セミナーを実施。

- ICT活用人材育成セミナー
- 地域プランナー育成セミナー
- 接客マナー向上セミナー
- 売れる商品開発・販売戦略セミナー
- 創業支援セミナー

#### ■就職促進メニュー

情報発信事業(雇用創出協議会HP作成)、就職サポート事業(就職相談会の実施)

#### ■雇用創出実践メニュー

まごころネットワーク構築事業として、①地域内農産物の物流体制の検証と整備を行い、市外のアンテナショップで農産物の販売検証を行っている。②小規模事業者の多い農林業、観光産業のPRと営業活動支援を実施し、合わせて都市部での本市産物販売協力店等の調査を実施している。③ICT(SNS)を利用検証と活用で真庭市産品のPRを実施している。④農林業産品を利用した郷土料理試作品の開発や観光資源の掘り起こしによる観光ツアー商品を開発している。⑤PRマッチングとして、市外におけるイベントや店舗で本市の積極的な宣伝活動を行っている。



有機栽培技術セミナー



都市部ホテルで農産品PR



## 4 事業成果(事業指標)

### ■パッケージ事業アウトプット指標

(人)、(%)

	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
雇用拡大(社)	39	121	310	46	263	592	49	220	451
人材育成	84	267	357	125	498	473	100	126	126
就職促進	25	28	112	35	44	126	42	53	126

### ■パッケージ事業アウトカム指標

(人)、(%)

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
新規創業者数	25	28	112	35	44	126	42	53	126

### ■実現事業に従事する労働者数2人(うち地域求職者数2人)

#### ■実践型事業アウトプット指標

(人)、(%)

	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
雇用拡大(社)	35	107	305.7	65	—	—	65	—	—
人材育成	100	202	214.2	180	—	—	180	—	—
就職促進	20	55	275	40	—	—	40	—	—

#### ■実践型事業アウトカム指標

(人)、(%)

	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
新規創業者数	41	46	112.2	59	—	—	68	—	—

### ■実践型事業に従事する労働者数6人(うち地域求職者数5人)

## 5 事業成果(その他波及的効果)

### パッケージ事業

団体・個人の知識習得機会向上で雇用機会増大を目指したパッケージ事業のセミナーを各種実施したことにより、125名が就職・創業に結びついたほか、農林業・観光産業関係者の意識改革、技術力ならびに情報発信力が向上した。農林業・観光分野においては、これまでになかった任意団体の発足や、観光地を有する市内地域において誘客に向けた新しい視点に立った取り組みが始まっている。この取り組みの支援は実践事業に引き継がれており、市の観光産業振興・農林業振興につなぐ活動として効果が現れている。

### 実践型事業

実践事業で行っている雇用創出実践メニューの各取り組みで、本市の農林産品や観光資源の市外へのPR機会は、格段に増加した。事業の活用により市外でのPRを重点的に行うことが可能になった。真庭市では、「真庭めぐりネットワーク推進協議会」が大阪府にアンテナショップ「真庭市場」を設置し真庭市農林産品等の販売と観光PRを実施しているが、雇用創出実践メニューの「PRマッチング」事業と「真庭市場」が連携したPRにより、真庭市の関西圏におけるPR活動が強化できている。また、関西圏以外でも、首都圏においても民間事業者と連携によるPRに努めており、真庭市農産品の販路拡大効果と真庭市の認知度向上に効果があらわれている。パッケージ事業に引き続き各種セミナーを開催しているが、市の創業支援補助制度と連携したセミナーでは新規創業者の増加、農業技術向上では有機農業団体の設立、商品開発メニューでは研究団体設立に至っている。

## 6 事業推進において生じた課題と解決に向けての取り組み

パッケージ事業及び実践事業における各セミナーは、受講者も多く好評を得ている。しかしながら実践事業における雇用創出実践メニューは、農林業・観光産業の魅力向上に加えてICTをテーマに真庭市への誘客に繋げることを目的としたメニューとしており、その構築に創意工夫が必要となっている。

このため、本協議会では協議会職員と市所管課職員との検討協議を密接に行い、実践メニューとして相応しいプログラム開発に配慮している。



## 7 事業実施に対する地域からの評価

### パッケージ事業

本市の主産業である農林業・観光業は、岡山県内における地域資源の保有という観点からいえば、恵まれていると位置づけられている。しかし、全国的にみれば、その魅力と情報発信力の及ぶ地域範囲は限定的である。これらをより広範囲に及ぼし、真庭市の知名度を高めることを目的として本事業の活用による「人材育成」と情報発信力を高める「技術力向上」に主眼を置き本事業に取り組んでいる。本市内では、これまで農林業・観光業の振興に各分野で専門的知識を有する講師陣を招いたセミナーが恒常的に開催されたことは無く、本事業の導入により実施できたことは地域における農林業・観光業事業者及び起業希望者に新たな視点を導入することに貢献した。この効果として、本市内では地域内で農林業においては有機農業栽培に取り組む農家が連携し団体を設立、また、観光業の基盤となる商業者において異業種間における連携が深まった。

また、地域の農林業品を地域内で流通させる「アグリネットワーク推進協議会」の取り組みとの連携においても、効率的な物流体制整備の実証を整えることができた。

### 実践型事業

実践事業では、パッケージ事業で推進してきたセミナーテーマを引き続き地域に波及させるため、雇用拡大メニュー、人材育成メニューで、農林業・観光業における、より魅力を高め、情報発信力を拡大するため専門度を深めたセミナーを実施するよう努めてきた。パッケージ事業に継続した実践事業におけるセミナー開催は認知度を高めており、結果として多数の参加者を集めるに至っている。実施したセミナーのうち、有機農業栽培、景観形成、新商品開発といった分野では、セミナーを機会に任意団体が発足しており、雇用創出実践メニューで取り組んでいる地域物流体制整備・販路拡大・ICT活用・商品開発の取り組みで、農林業・観光業における既存事業者の育成に加えて、これら発足した団体の育成を図っている。発足した団体は意欲的に活動しており、実践事業における各事業メニュー実施にあたって、その一部において本地業と連携し核となる役割を担っている。特にPRマッチング事業として都市部で開催されるイベントや都市部の店舗で地域資源の販路拡大・PRを実施する事業において意欲的に活動しており、これらの団体が雇用拡大につながる事業展開を行うことが期待されるところである。



発足をテーマにした事業者が連携し物流体制整備

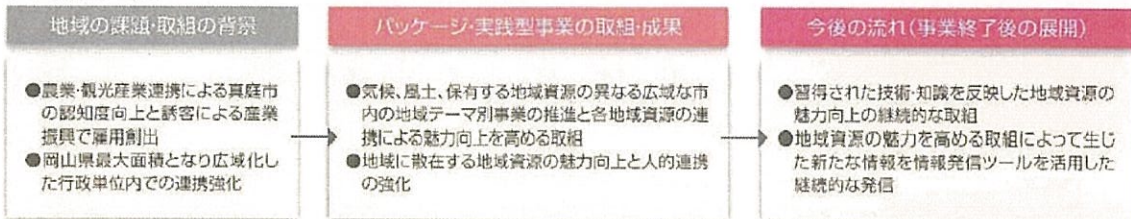
## 8 事業終了後の取組と今後の方向性(実践内容も含む)

本市では実践事業で農林・観光産業における地域資源の魅力向上に向けて農産品の地域物流体制整備やアンテナショップ等による情報発信や販路拡大、ICT活用によるポータルサイト整備などで進めてきた。現在、アンテナショップとして、真庭あぐりネットワーク推進協議会が運営する「真庭市場」が都市部での情報発信や販路拡大拠点となっており、またICT活用によるポータルサイトは、市が運営する統合総合ポータルサイト構築が検討されている。今後も事業で育成された人材や団体との連携を継続し、情報発信ツールによる魅力発信を進める。



真庭市場

### 事業(取組)の流れ



### 地域からの声

本市は80%以上が山林であり、その間に平地と地域資源がまばらに点在する典型的な地方の中山間地である。このため、雇用の大きい大型企業の誘致環境は景気動向にかかわらず厳しい状況が続いている。このため地場の主産業である農林業と観光産業の魅力高め、雇用を創出することを目的に本事業の活用に至った。多様なセミナーは知識習得機会の提供だけでなく受講者の実践的技術力向上に大いに貢献した。また、それ以上に地域住民が地域資源を再認識し多様な活用性を見いだそうとする動きが起きたことは大きい。地域資源の魅力向上にはソフト支援による「人・財」育成が不可欠であり、本市では地域力の底上げによる雇用創出を目指している。



